



高原の自然館ニュースレター

苜尾電波塔

第13号

2005. 1. 7

高原の自然館

苜尾（かりお）とは、広島県芸北町にある山の名前です。

一般には臥竜山として知られていますが、地元の人たちは親しみをこめてもっぱら「かりお」の名前をつけています。

お知らせ

『苜尾』の原稿を募集しています (2004.11.26)

西中国山地自然史研究会の『苜尾』の原稿を募集しています。内容は西中国山地の自然や動植物に関する情報や自然に関わる活動報告、自然賛などで、600～1600字程度にまとめてください。写真を大歓迎します。あなたの見つけた小さな発見を、会員のみなさんにも伝えてください。

アンケートのおねがい (2005.1.7)

来年の活動をより充実させるため、アンケート調査を行っています。高原の自然館の活動をより充実したものにするため、皆様のご意見をお知らせ下さい。

－ インターネット版のご紹介－

苜尾電波塔はe-mailでも発行されています。また、高原の自然館ホームページからはpdfファイルをダウンロードできます。インターネットを利用すれば、関連ホームページにジャンプしたり、写真をカラーで見られたりと、便利です。

高原の自然館では、紙資源の節約と事務処理の軽減のため、インターネットの利用をお願いしています。今後、紙版の郵送が不要な方は、高原の自然館までご連絡ください。

観察会案内

● アニマルトラッキング

今年もやります、アニマルトラッキング！自然館もヤマネもコテングコウモリも（おそらく）ツキノワグマも、冬眠に入ってしまったが、キツネやタヌキ、ノウサギは活発に活動しています。夏には観察が難しい動物も、足跡や糞など、活動の痕跡（トラック；track）を見れば、どんな活動をしているのかが良く分かります。これも降り積もった雪のなせる技、冬ならではの観察会です。防寒対策をしっかりとって参加してください。

開催日時：2005年1月16日（日）9：30～

講師：畑瀬 淳

集合場所：高原の自然館

準備：防寒着、長靴やかんじきなど雪の上を歩ける履き物、弁当、水筒、筆記用具、双眼鏡など

定員：30名（必ず予約をしてください。）

参加料：1,000円（ただし、会員は無料）

お正月の休みが終わり、実家から芸北に戻ってくると一面の雪でした。ああ、また雪道を通る日々か、と思うと同時になんだかほっとした気持ちにもなりました。ブナ林も湿原も草原も田圃も、あらゆるものを覆う雪は、冬の寒さから地表を守っているように見えます。やっぱり芸北の冬は一面の銀世界であって欲しいですね。

記事に関するお問い合わせ、観察会のお申し込み先
(ご意見・ご感想もお待ちしております)

高原の自然館（こうげんのしぜんかん）

〒731-2551 広島県山県郡芸北町東八幡原119-1

tel. & fax : 0826-36-2008

<http://shizenkan.info/>

nature@town.geihoku.hiroshima.jp